



令和7年11月25日

救急出場件数が急増中！

令和7年中における東京消防庁管内の救急出場件数は、10月下旬から急増しています。このペースで救急出場が増加すると、年間出場件数がこれまでの最多であった令和6年の出場件数（935,373件）を上回ると推測されます。

1 救急出場件数等

項目	救急出場件数
本年の累計件数（速報値）	831,814件※
対前年同日比	+153件※
年間過去最多出場件数	935,373件（令和6年）
統計開始年	昭和11年

※11月24日現在

2 救急出場件数が急増した要因

今年は、インフルエンザの流行が例年より早く、急激に増加した影響もあり、救急出場件数が10月下旬頃から急増しています。10月24日からの1か月間で発熱症状等により救急搬送された方の人数は1万人を超えるました。

3 都民の皆さまへの呼びかけ

東京都内では、11月13日（木）にインフルエンザの流行警報が発表されました。警報発表は昨年より6週間早く、また11月に警報が発表されたのは、2009年以来16年ぶりとなります。

「インフルエンザに、からない、うつさない、ひろげない」ために、手洗い、咳エチケット、早めの医療機関受診を心がけましょう。

もし、意識がはっきりしない、呼吸が苦しい等、いつもと違う場合や様子がおかしい場合は、ためらうことなく119番通報してください。

また、病院に行くべきか、救急車を呼ぶべきか迷った時は、インターネットで病気やけがの緊急性を判断できる「東京版救急受診ガイド」をご活用いただけ、東京消防庁救急相談センター（#7119）に電話してください。

4 冬季に増加する救急事故

- 年末年始は会席の機会も増え、飲酒に伴う「嘔気・嘔吐」「一時的な意識消失」「脱力・歩行困難」等の救急事故が多くなります。短時間での大量の飲酒は控えましょう。
- 年間を通じて転倒による怪我は多くみられますが、冬に増加する傾向があります。室内での転倒、降雪や路面凍結による転倒にご注意ください。
- 入浴中の「一時的な意識消失」「脱力・歩行困難」等も冬に増加します。脱衣所と浴室の温度差によるヒートショックや長湯にご注意ください。
- 喉詰まりによる窒息事故も年始に増加します。「食事をとる前に汁物で喉を潤す」「お餅を小さく食べやすい大きさに切る」「少量を口に入れてゆっくり食べる」等ご注意ください。

5 その他

- 119番通報は東京消防庁につながった順番で指令管制員が対応しています。救急要請が増加すると、一時的に通報がつながりにくい時間帯があります。電話がつながらないからといって一度切ってしまうと、つながる順番が最後になる可能性があります。119番通報を行った際は、つながるまで電話を切らないでください。
- 不要不急の電話については、最後までお話を聞かずに切斷する場合があります。他の緊急通報を優先するための対応ですので、ご理解をお願いします。
- 救急車の適時・適切な利用の詳細については、東京消防庁ホームページをご参照ください。



東京版救急受診ガイド



東京消防庁HP

問合せ先

[東京消防庁(代) 電話 03-3212-2111]
[広報課報道係 内線 2345～2350]